

注目のカウファミリー 第49回

BRF ミズリー シラス サラダ ET



写真1

今回は2022年8月評価にてデビューしたゲノミックヤングサイア、JP3H60517「カブレゼ」【写真2】、JP3H60535「シーハーハー」【写真3】、JP3H60790「オレンジ」【写真4】を輩出した「サラダ」ファミリーを紹介します。6歳にして40頭以上の子孫を輩出している北海道の美瑛町（株）ベイリッチランドファーム所有「BRF ミズリー シラス サラダ ET GP-80」【写真1】から繁栄し、2022年8月評価の経産牛、未經産牛、若雄牛GNT第1位はすべて「サラダ」ファミリー由来です。

当ファミリーをさかのぼると、カナダ ケベック州のビュクソール牧場で繁栄する「ビュクソール アレン ドラゴンフライ EX-94」【写真5】にたどり着きます。当場は数多くのEX牛を輩出した牧場として知られ、その名を世界に広めたのがドラゴンフライです。彼女の母「ビュクソール アウトサイド メアリー ソル EX-95」は、2歳VG-86点を獲得、産次を重ねるごとに得点を上げ3Eを達成したショウカウです。さらに

生涯生産乳量10万kg以上 F5.3%を記録し、メアリーの優れた能力と体型は「サラダ」ファミリーの特徴として今日まで受け継がれています。

ドラゴンフライは未經産の頃からショウカウとして活躍し、オールカナディアンにもノミネートされた実績を持ちます。彼女はEX級7頭とVG級36頭（うち18頭が2歳VG級）を輩出し、44スターを獲得、どの種雄牛を交配しても優れた体型と能力の娘牛が生まれる高い遺伝伝達能力を発揮しました。彼女の代表娘牛「ビュクソール ボルトン ハリア VG-87」【写真6】が高GLPIを持ったことをきっかけにドラゴンフライの遺伝子は受精卵を介して世界20カ国に広がりました。ハリアは2010年12月経産牛LPI第6位、1歳11ヶ月305 11,912kg F4.7% P3.5%とファミリー譲りの初産から発揮する高能力を示しました。その後、彼女のフレディ娘牛【写真7】がGTPI第1位のヤングサイア「フレーム」を輩出したことにより、インデックスカウファミリーとしての地位を確立しました。

ハリアの孫に当たる「ビュクソール プラチナ シラス ET GP-82」は2014年のセールにて\$ 85,000（当時約867万円）でパトラビュー牧場へ売買されました。当団では彼女のユニークな血統構成に着目し、優良遺伝資源造成事業用として導入した受精卵から誕生したのがシラス サラダです。現在未經産GNT第1位には彼女の娘や孫が多数ランキングし、日本のゲノミック評価をけん引しています。「サラダ」ファミリーは高い産乳能力に加え、好体型、好繁殖といった現代の乳牛改良にマッチした経済性と長命性が特徴です。

シラス サラダは2019年8月経産牛NTP第10位にランキングし、彼女の娘牛「BRF エンデバー ポテト サラダ ET」は現在未經産GNT第1位の「マウントエース GEN ペイロード ポテト サラダ ET」を輩出しています。また、シラス サラダのジヤマルコ息牛「カブレゼ」「シーハーハー」は優れた産乳能力とファミリー譲りの好体型、好乳器が特徴の世界トップクラスのGNTを誇る当団期待のゲノミックヤングサイアです。

シラス サラダの初産分娩の子「BRF モントーヤ シーザーサラダ」は現在経産牛GNT第1位にランキング、未經産GNT第8位の「BRF ビゲロ オイシイ サラダ ET」【写真13】を始めとしてGNT+3000以上の娘牛を多数輩出しています。そして、シーザーサラダのマスターカード息牛「オレンジ」は先述の2頭と同様優れた産乳能力に加え、搾乳ロボットにも適したヤングサイアとして注目を集めています。

日本屈指のインデックスをけん引するカウファミリーとして、「サラダ」の活躍に今後も目が離せません。



写真2



写真3



写真4

